

同年11月、設計の最終調整を行い、12月議会で補正予算が承認された。平成8年2月に旧宅を解体し、4月着工、9年8月竣工後、外構・庭園の工事を行い、平成10年4月17日に開館した。

4. 運営

鎌倉の美術館構想に基づき、新しい魅力ある美術館の設置と行政の簡素化を図るため、平成8年4月から美術館管理運営の財団委託化が、市教育委員会、企画部、財団法人鎌倉市芸術文化振興財団により検討された。

同財団は、鎌倉市における芸術文化の向上と振興を図るため、市民の自主的創造的な芸術文化活動を促進し、豊かな地域文化の形成と発展に寄与する目的で設立され、鎌倉美術館を中心に活動を行っていた。7月、利用者サービスの向上や機動的、柔軟な運営が、市の直営より優れていると判断され、今後新設される美術館本館等も同運営方式を原則として検討することも含め、同財団が運営を行うことになった。

鏑木清方の記念美術館運営の基本方針は、芸術的・文化的雰囲気ので快適な施設とすること。市民等が利用し易い施設とすること。新たな文化の創造や活動が展開できる施設とすること。管理運営主体を財団とし、事務執行を市が補助するものとした。

財団は、9年1月学芸員を2名募集し、4月から採用、建設完了までは鎌倉文学館で準備に当たった。

事業運営は、施設管理の他に、展示事業、講座・講演会等の実施、鏑木清方の芸術に関する調査研究と刊行物の発行、収蔵作品の貸出等、また、市は作品収集事業を行うものとされた。

開館に向けて、作品資料の修復と整理が急がれた。

5. 開館と事業展開(平成10年～16年)

開館準備に際し、専門委員が設置され、その助言のもとに、平成10年4月17日に、関係者を招いて開館記念式典が行われ、翌日から一般観覧が開始された。

最初の展覧会「一所蔵品による一開館記念 鏑木清方展」は、三期に渡り80日間開催され、延べ16,178人が来館した。また、展覧会図録の刊行や、美術講演会も年1回の割合で実施された。

平成11年度からは借用作品を交えた特別展も開催されるようになり、全国にある清方作品を紹介することになった。13年度からは特別展の図録刊行から、所蔵品を研究しその成果を図録として刊行することになった。15年度より、館収蔵の口絵や挿絵の調査研究に及び、その内容と清方の挿絵における業績全般へと調査研究領域を広げた。文芸雑誌の『文芸倶楽部』、『講談雑誌』、新聞では『東北新聞』について一点ごとに小説のあらすじや挿絵の場面特定を行った。

教育普及事業では、美術講演会の他に、15年度より展示解説を開始し、16年度以降は毎月第2第4土曜日に定期的に行っている。

なお、それまでの専門委員制度に代わって、16年度から参与を設置、新たな体制がつけられた。

6. 指定管理者制度の導入(平成18～19年)

平成18年度から指定管理者制度が導入され、3年間財団法人鎌倉市芸術文化振興財団が事業の運営を行うことになった。開館当時は、市職員が派遣され、補助金と委託料で運営されてきたが、指定管理者制度導入を機に、市関係職員の引き揚げと利用料制度導入が実施された。

また、参与を廃し、館長を任命し、本格的美術館としての体制を整えた。

展示事業は、特別展を年2回から3回に増やし、開催時期も来館者の多い季節に行うことにした。講演会は年1回から春・秋の2回となり、様々な角度から清方の芸術について論評がなされている。調査研究は、挿絵画家時代の研究を『新小説』や新聞『人民』などの他に、清方が活躍した展覧会にも対象を拡げ、烏合会展覧会や、開催から100年を迎えた官展に焦点を当て、その研究の成果を叢書図録として刊行した。

展示解説は、新たに市民サポートスタッフも加え年60回に達した。また、子どもプログラムもスタートし、春・夏の2回開催している。

7. 新しい展開(平成20年～)

開館10周年を迎える平成20年1月、京都駅に隣接した美術館「えき」KYOTOにおいて、当館コレクションによる開館10周年記念の「鏑木清方の芸術展」が開催され、約2万人の入場者を数えた。また、平成20年3月発行の『別冊太陽』で鏑木清方が特集されることになり、清方の画業を全国的に紹介する好機として、その編集に全面的に協力し、清方愛好者の獲得に力を注ぐことにした。

鎌倉市鏑木清方記念美術館は、これからも清方芸術の顕彰と普及のため、展示作品の保存管理、調査研究等に努め、市民をはじめ多くの人々の期待にこたえていく所存である。

凡例

- *本誌には、開館の平成10年度(平成10年4月17日～平成11年3月31日)から平成18年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)までのデータを掲載しました。
- *年度をまたがる展覧会、或いは、企画等については、開始時の年度に掲載しました。
- *展示作品に関するデータは、『鎌倉市鏑木清方記念美術館 開館十周年記念図録 鏑木清方名作集』(平成20年3月刊行)に掲載しました。
- *本館所蔵作品の詳細に関しては、
『鏑木清方記念美術館 収蔵作品図録－作品編』(平成18年3月改訂)
『鏑木清方記念美術館 収蔵作品図録－卓上芸術編(一)明治・大正期－』(平成14年7月刊行)
『鏑木清方記念美術館 収蔵作品図録－卓上芸術編(二)昭和期－』(平成14年9月刊行)
をご参照ください。